

- ★2019年4月に中学1年生になる方へ(2020年4月に中学2年生になる方へ)
- ★2020年4月に中学1年生になる方へ

2019・2020年度用

中学1・2年の総復習 数学 改訂版

新学習指導要領 対応のお知らせ

2019年4月から、中学校で学ぶ内容が新しくなり、学習する学年と内容が一部変更になりました。ここでは、その内容をまとめているので、参考にして、学習に役立ててください。



★新しく追加される内容

単元名	(学習する学年)	掲載ページ
素数の積	(1年)	このプリントの2～4ページ
累積度数	(1年)	このプリントの2～4ページ
四分位範囲	(2年)	このプリントの2～4ページ
箱ひげ図	(2年)	このプリントの2～4ページ

★省略される内容

下記の内容は、3年で学習することになります。

単元名	掲載ページ
誤差や近似値, $a \times 10^n$ の形の表現	本冊 P38 2 近似値と有効数字 本冊 P40 3

1 素数の積

1 次の数を素数の積で表しなさい。

- (1) 6 () (2) 20 ()

2 累積度数

2 下の表は、あるクラスの男子の50m走の記録を調べ、度数分布表にまとめたものである。

階級(秒)	度数(人)	相対度数	累積度数(人)	累積相対度数
以上 未満				
6.0~7.0	3	0.15	3	0.15
7.0~8.0	6	0.30	9	イ
8.0~9.0	7	0.35	ア	0.80
9.0~10.0	4	0.20	20	1.00
合計	20	1.00		

- (1) 上の表のアの累積度数を求めなさい。()
 (2) 上の表のイの累積相対度数を求めなさい。()

3 四分位範囲

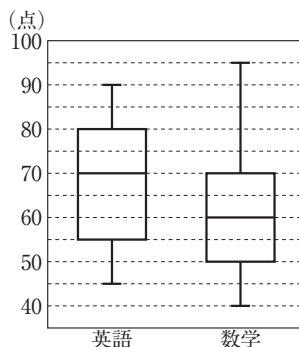
3 次のデータについて、第1四分位数と第3四分位数をそれぞれ求めなさい。

3 5 7 9 10 11 13 15 19

()

4 箱ひげ図

4 右の図は、あるクラスの生徒30人の英語と数学のテストの得点を箱ひげ図に表したものである。データの散らばりが大きいテストはどちらのテストですか。()



1 素数の積

その数自身と1の他に約数をもたない数を素数という。2以上の自然数は素数だけの積の形で表すことができる。

2 累積度数

累積度数…最小の階級からある階級までの度数の総和の値。

累積相対度数…最小の階級からある階級までの相対度数の総和の値。

3 四分位範囲

四分位数…全てのデータを小さい順に並べ、四等分したときの3つの区切りの値。

第1四分位数…値の小さい方の半分の中央値。

第3四分位数…値の大きい方の半分の中央値。

第2四分位数…中央値。

四分位範囲…第3四分位数から第1四分位数をひいた値。

例

$$\text{第2四分位数 } \frac{7+9}{2} = 8$$

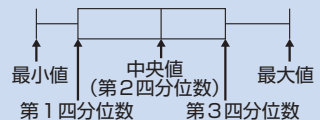
2 5 7 9 11 14

第1四分位数 第3四分位数

四分位範囲 11-5=6

4 箱ひげ図

箱ひげ図…データの分布のようすを、長方形の箱とひげを用いて1つの図に表したもの。



四分位範囲が大きいほど、データの散らばりが大きい。

1 次の数を素数の積で表しなさい。

(1) 18

(2) 45

()

()

2 右の表は、ある学年のハンドボール投げの記録をまとめたものである。次の問いに答えなさい。

階級(m)	度数(人)	相対度数	累積度数(人)	累積相対度数
以上 未満				
10~15	6	0.12	6	0.12
15~20	10	0.20		
20~25	17	0.34		
25~30	13	0.26		
30~35	4	0.08	50	1.00
合計	50	1.00		

(1) 右の表を完成させなさい。

(2) 記録が20m未満の生徒の人数は、全体の何%か求めなさい。

()

3 次のデータは、あるクラスの生徒10人の英語のテストの点数を、小さい方から順に並べたものである。次の問いに答えなさい。

(点)

62 68 73 75 79 81 85 92 94 98

(1) このクラスのデータの第1四分位数を求めなさい。

()

(2) このクラスのデータの第3四分位数を求めなさい。

()

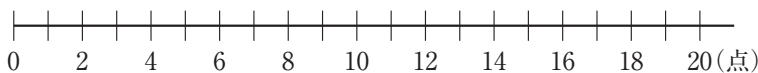
(3) このクラスのデータの四分位範囲を求めなさい。

()

4 右の表は、あるクラスの小テストの結果から最小値、最大値、四分位数を求めて整理したものです。この値をもとに箱ひげ図に表しなさい。

(点)

最小値	4
第1四分位数	9
中央値	11
第3四分位数	16
最大値	19



基礎問題 解答

- 1** (1) 2×3 (2) $2^2 \times 5$
2 (1) 16人 (2) 0.45
3 第1四分位数 6 第3四分位数 14
4 英語

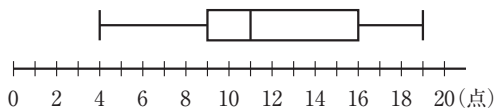
基礎力確認テスト 解答・解説

- 1** (1) 2×3^2 (2) $3^2 \times 5$ **2** (1)

- 2** (1) 右の表 (2) 32%

- 3** (1) 73点 (2) 92点 (3) 19点

4



階級(m)	度数(人)	相対度数	累積度数(人)	累積相対度数
以上 未満				
10~15	6	0.12	6	0.12
15~20	10	0.20	16	0.32
20~25	17	0.34	33	0.66
25~30	13	0.26	46	0.92
30~35	4	0.08	50	1.00
合計	50	1.00		

- 1** 次のように、商を下に書きながら小さい素数から順にわっていく。

$$\begin{array}{r}
 (1) \ 2 \overline{)18} \\
 \underline{3} \\
 3 \\
 \underline{3} \\
 0
 \end{array}
 \qquad
 \begin{array}{r}
 (2) \ 3 \overline{)45} \\
 \underline{15} \\
 0 \\
 \underline{0} \\
 0
 \end{array}$$

- 2** (1) 15m以上20m未満の階級までの累積度数は、10m以上15m未満の階級までの累積度数6人に、15m以上20m未満の階級の度数10人を加えて、

$$6 + 10 = 16(\text{人})$$

15m以上20m未満の階級までの累積相対度数は、10m以上15m未満の階級までの累積相対度数0.12に、15m以上20m未満の階級の相対度数0.20を加えて、

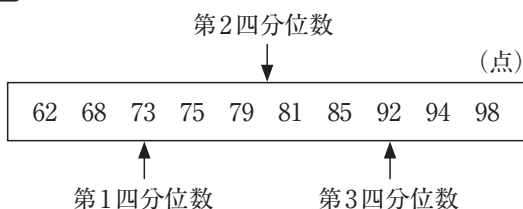
$$0.12 + 0.20 = 0.32$$

20m以上25m未満の階級以降も同様にして求める。

- (2) 記録が20m未満の生徒の割合は、記録が15m以上20m未満の階級までの累積相対度数である。

$$0.32 \text{ だから、} 32\%$$

3



- (1)** 上の図より、第1四分位数は73点
(2) 上の図より、第3四分位数は92点
(3) 四分位範囲は第3四分位数から第1四分位数をひいた値だから、
 $92 - 73 = 19(\text{点})$

- 4** 箱ひげ図では、ひげをふくめた全体の長さが範囲、箱の長さが四分位範囲を表す。